

第 1 回学校運営協議会

令和 8 年 6 月 1 0 日（水）午後 2 時から

徳島県立徳島中央高等学校 大会議室

1 開会

2 任命及び自己紹介

3 学校長あいさつ

4 会長・副会長の選出

会長に長井会長、副会長に樽見校長が選任された。

5 協議

（1）令和 8 年度学校経営方針について

樽見校長から説明。

（2）令和 8 年度教育課程の編成について

（3）令和 8 年度学校評価計画について

夜間部、昼間部、通信制、しらさぎ中学校の順に説明。

（4）学校運営協議会委員からの提言について

○しらさぎ中学校と夜間部の交流はあるのか。

→行っている。今後も計画していきたい。

○防災に関する取り組みはどうか。

→去年は防災士の資格取得に 2 名がチャレンジして、1 名が合格した。

今年は 2 名チャレンジ予定。

○夜間部 1 年生が少ない。理由は何か。

→もう一度学校生活を頑張りたい、という生徒が多い。

○出張スクーリングについてはどうですか。

→今は 2 人以上いると出張ができる。個々にどう対応するかが課題である。

○日本語指導が必要な外国籍の生徒に対して、こんなアプリが良いというのがあれば、教えてほしい。

→Google の翻訳機を使う。日本語をまず英語に訳してから、他言語に訳す。

○価値観が多様化している。生徒への対応について教えてほしい。

→教員が寄り添い、分かりやすい授業の展開に努めている。ICT を効果的に活用している。

スクールカウンセラーのカウンセリングを受けることができる。また、スクールソーシャルワーカーに相談をしたり、家庭訪問もしていただける。県の支援員さんの相談も受けられる。（昼間部）

1年生全員にカウンセリングを受けてもらっている。職員間で週1回生徒の状況を話し合う。(夜間部)

特別支援の研修会を行い、全員で共有し、非常に細かく話し合う。そのことで、一人一人何か起こったときの対応が素早くできるようにする。(通信制)

年代の幅が非常に広い。例えば80歳代の人ならまず、健康面が一番大切であり、仕事、体調管理、中学校へ通うことなど、すべてがきちんとしてできるか話をする。学校と医療機関の連携もできる。学びが必要なのか、まずは体調面が最優先なのかなど、その人の状況によって対応している。(しらさぎ中学校)

○学校は大変だと、話を聞いて分かった。昔は、部活動や地域との連携もあった。部活動は人と人との温もりを生む活動。

→スクーリングで部活動は7時間目にあり、大学と似ていて出席数が卒業に影響する。もちろん生徒間のコミュニケーションもとれる。(通信制)

実際によく活動しているのはeスポーツ、バドミントンなどの室内競技。人数の必要な競技は難しい。生徒の表情は生き生きしており、学校に登校できなかった生徒が登校できるようになったりもする。(夜間部)

部活動はない。授業前にはカルチャーレク、eスポーツレクを行ったり、授業後にはスポーツレクを行う。(しらさぎ中学校)

○温もりを感じる場所が学校生活で必要である。

○高校時代というと、青春できる時期であり、憧れを持っている人も多いと思う。学校へ行って、部活動に入って、その中で出会いもあったり、社会生活も学べる。

○近頃、愛、熱さ、エネルギーを感じる事が少ない。先生方は大変だろうが、放課後に、週1回でも2回でもいいので、誰でも参加できる場所があったり、みんなが共有できる時間があれば良いのと思う。良かったら私も参加させてもらいます。徳島県は宝の県で衣食住そろっている。

○人数の多い部活動は何人ぐらいいますか。

→バスケットボール部、卓球部等は人数が多いです。

○学校に来れない生徒が来れるきっかけにもなる。何かに頼って生きて行くことも必要。人の目を見て話ができる子になってほしい。そのために対応していくことが大切。

○今は、スマホで検索するとAIがみなやってくれる時代。AIに関してどんな意識を持っているのか。

○連絡網は機能しているのか。うちは子どもとよく話をするが、ご家庭によっては、手紙が3か月後に保護者のもとに届くというのも聞く。うちの子は学校へ通うことが一番楽しく、30分ある部活動が楽しいようです。春休みには学校へ行きたくてスクールシックになっていた。いろんな情報を保護者の方にも伝えてほしいので保護者への連絡手段を考えてほしい。ICTなどで連絡手段があれば活用を検討

していただければと思う。

(5) その他

教頭より今後の予定について連絡。

次回は授業見学をしていただく予定で計画している。

6 閉会